

子どもへの声掛け

育ちの森 子ども支援室「めっく」

☆ 子どもにどんな声掛けをしたらいいか悩んだことはありませんか？

「こうあって欲しい!!」という親の気持ち(期待や不安)によって
つい言い過ぎてしまうことがあると思います。

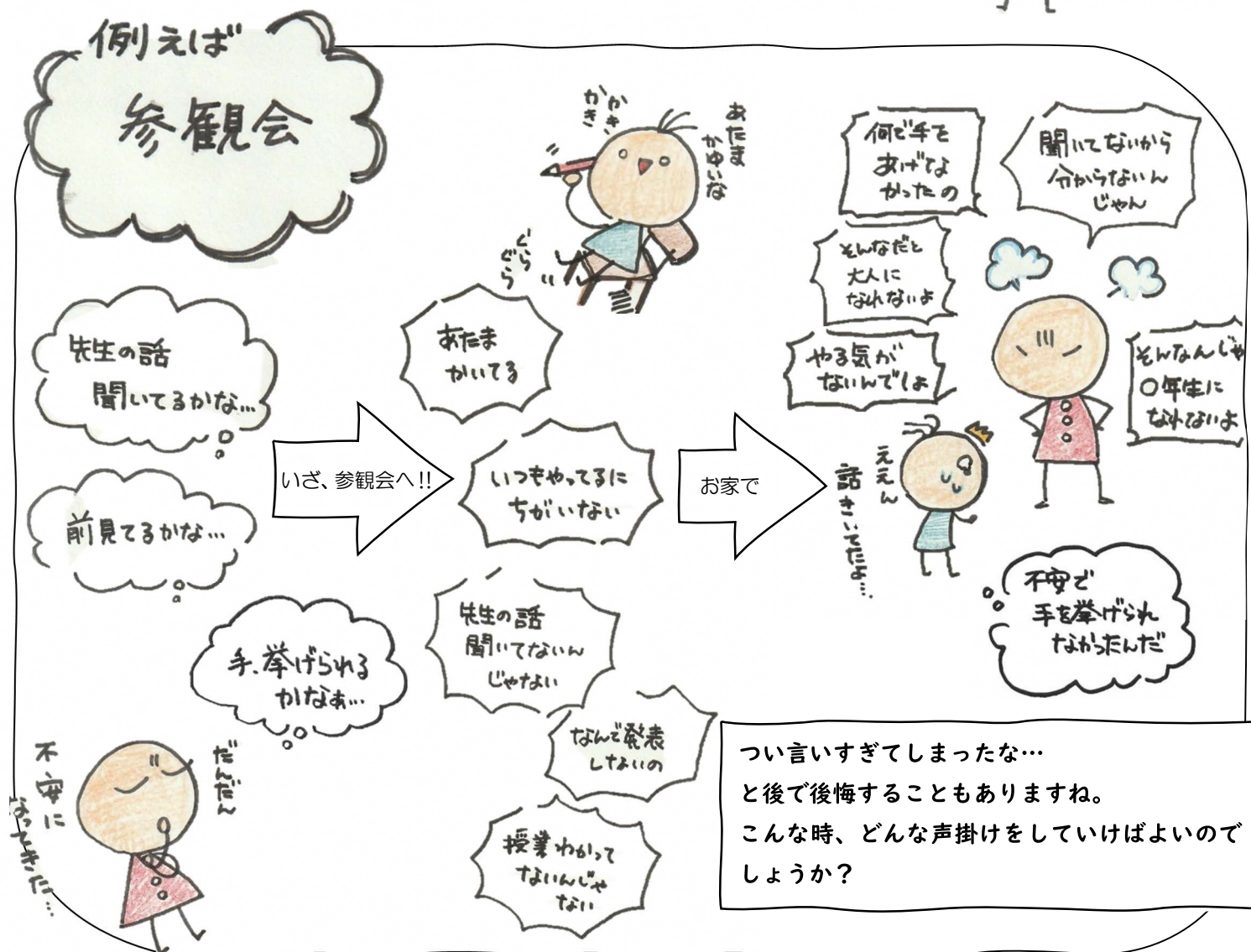
子どもの成長を願うあまりに、

思い込みで不適切な言葉掛けをして
しまうことがあるかも知れません。



今回は、子どもへの声掛けで気を付けたいことを考えてみました!!

例えば 参観会



見てもないところで決めつけて怒ってしまった！

後で振り返って
「良くなかったな」と気づく

いっばい
言ってしまった



○ 1他の子と比べてないかな

○ 1つのことを「全部」「いつも」と思っていないかな



まずは... 攻めすぎない



「言いすぎに」「よくなかった」と振り返れることはすばらしいこと。

「言いすぎに...」と思ったら、まず子どもへ謝ろう。



日常の中で **思い込み** があるということに気づくことが大切 ...

思い込みではなく、客観的に色々な視点で見られるといいですね。

例えば



そうせざるをえなかった子どもなりの理由があるのかも ... と考える!!

- 授業中に手を挙げてられない理由
- イスをぐらつかせる理由
- 前を向いていられない理由

➡ 何の思いあたることは?
考えられることは?



次こうやろう

こう話を聞こう

という気持ちで大事



思考の柔らかさ

聞く自分になれる

ことも大切



子どもの頑張っている姿を認めていくこと。
子どものいいところを見つけたいですね。

子どもを叱りすぎたなと思った時や
子どもを傷つけたと反省した時など、
何度も振り返って
客観的に自分の行動を
見つめなおせるといいですね。